

佳作

おいしいおばあちゃん

イギリスウエールズ日本人補習授業校三年 ウィックスレノン

夏休みは、おばあちゃんが日本からイギリスに来ました。おばあちゃんのスイーツケースの中には、パンやおだんごがたくさん入っていました。とくにイギリスにはないぼくの大好きなクリームパンがたくさん入っていたので、ぼくはうれしくて早く食べたくて仕方ありませんでした。それから三日間、ぼくたちの朝ごはんはパン祭りでした。パンもおだんごもおいしくてもっと持ってきて欲しかったです。

おばあちゃんは、毎日すごくおいしいごはんを作ってくれました。作ってくれた食べ物の中で一番好きな物は春まきです。おばあちゃんは、春まきを六十本作ってくれました。四十本れいとうしたのでおばあちゃんが帰った後も春まきを食べることができそうです。

今回、日本の春まきのほかにベトナムの春まきも

作ってくれました。その春まきの中身は日本の春まきと同じ具で、ライスペーパーでつつんで油で揚げます。この春まきがすごくおいしくて、おばあちゃんはこの国のごはんでも作れて料理の天才だと思いました。

夏休みの間、いつもキッチンで何かを作ってくれているおばあちゃんを見て、

「やったあ。またおいしい食べ物食べられる。」と、ぼくはワクワクしていました。

ぼくのお母さんは、ぼくと同じで食べる事が大好きです。お母さんは、今も食いしんぼうです。だからおばあちゃんは、お母さんが小さい時からずっと食いしんぼうのごはんを作っているのです、ごはんを作るのが上手なのだと思います。

そしてぼくのお母さんは、おばあちゃんの次に料理が上手です。もしお母さんも冷とう食品を使わないで、おばあちゃんみたいに、毎日日本のごはんを作ったら、おばあちゃんをぬかせるのではないかと思えます。

ぼくは、お母さんが作るお弁当がとても好きです。毎週土曜日のウエールズ補習校に持って行く日本のお弁当を楽しみにしています。いつも、二時

間目になるとおなかがすいてきて、べん強に集中できなくなりました。そうなった時は、おべん当の事を考えながら、「もう少しでおべん当の時間だからがんばろう」と心の中で自分をはげましています。

おばあちゃんは、一か月ぼくたちのごはんを作ってくれて大変そうでした。でも、ぼくは、おばあちゃんのごはんを食べたいので大変そうだと思っても、やめていいよと言いませんでした。

後二日、おばあちゃんは日本へ帰ります。おばあちゃん、毎日おいしいごはんやケーキを作ってくれてありがとうございます。また、来年の夏休みもイギリスに来てください。来年は、おばあちゃんが春まきを作る時、ぼくはおばあちゃんのお手伝いをしたいと思います。